



「銀行」からのメールに注意を！！

犯人は、被害者が騙されて入力したパスワード等を利用して被害者のインターネットバンキング口座に不正にアクセスし、お金を騙し取りま

フィッシングサイト(例)

口座名義人

口座番号

ログインパスワード

確定

URLにアクセスすると、本物の金融機関のサイトに似せて作成されたフィッシングサイトに接続され、パスワード等を入力するよう誘導します。

●●銀行
 お客様ご利用の口座が不正に利用されている可能性があります。
 口座が利用停止中です。
 http://●●●●●●●●●●
 URL(ここにアクセスさせる)

犯人は、被害者の携帯電話に不安をあおるメッセージと、フィッシングサイトに誘導するためのURLが記載された電子メールやショートメールを送ってきます。

「〇〇銀行」などと銀行を装った偽メールによるインターネットバンキング不正送金被害が発生しています。
 パスワードが失効します。
 不正なアクセスを検知しました。
 口座が不正に利用されました。
 カード・通帳の利用が一時停止されます。
 などの不安を煽る電子メールやショートメールが届いたら要注意です。
 メールに記載されているリンク先を開くと、口座番号や取引パスワード等を入力させて盗み取る本物そっくりの偽サイトへ誘導されてしまいます。
IDやパスワードの入力を求めるメールはフィッシング詐欺！
？と思ったら、銀行に電話で確認を

二二四万円

昨年中、県内における特殊詐欺の被害は一〇八件(前年比プラス一件)・被害総額約二億三千万円(同マイナス約四千五百万円)で、一件当たりの平均被害額は約二二四万円にもなっています。

また、被害全体に占める六五歳以上の高齢者の割合は、件数が約六八%の七三件・被害額が約六六%の一億五一四八万円と、高齢者の被害が目立ちます。

他に昨年中における特殊詐欺の特徴としては、

★ 警察官や金融関係者をかたる電話がかかってきた後、犯人グループの者が自宅まで来て「キャッシュカードを預かります(交換します)」などと言いきゃッシュカードを騙し取る手口の詐欺が多発！

★ 携帯電話やスマホに「登録料金の確認をしてください。」等と言ったショートメールが届き、記載されている連絡先に電話すると「支払わないと裁判になる。支払の九五%は返金される。」等と言って被害者にコンビニ等でインターネットで利用できるギフトカード(電子マネー)を購入させ、利用するための番号を教えさせる架空請求詐欺が相変わらず発生！この手口による被害者は、二〇〇四〇歳代の若い方が多く、女性の被害も目立ちました。

特殊詐欺の犯人が狙っているのは高齢者だけではありません。若い方も特殊詐欺の新しい手口に関心を持ち、被害に遭わないようにしてください。

実家を離れて新生活のスタートアパート選びは「防犯」もポイントに！！

進学・就職のシーズンを迎え、お子さんが実家を離れて新生活を始めることとなるご家庭も多いかと思えます。アパートや賃貸マンションを選ぶ際、駅やバス停に近く通学・通勤に便利なことや家賃が安いこと、見た目のきれいさなどを先ずお考えになると思いますが、「防犯」も加えましょう。

特に、女性の場合は、留守を狙った侵入窃盗のほか、在宅時における性犯罪目的の侵入や、下着等の干し物を狙った色情ねらい、更には、郵便受け内の郵便物等を狙った事案等を防止するための対策が十分かどうかを考えて選ぶことが大切です。

《選ぶ際のチェックポイント》

- ★ 共用出入口に防犯カメラが設置されているか。
- ★ 玄関ドアはツーロックか。居住者が入れ替わる際に、錠が交換されているか。
- ★ インターフォン(できれば画像で確認できるタイプの物)が設置されているか。
- ★ 窓には補助錠が設置されているか。
- ★ ベランダやバルコニーは、外や隣室から侵入しにくい構造か。また、外から視かれにくい構造か。(特に、一階の部屋では重要なポイントです。)
- ★ 共用廊下や階段の明るさ(照明)は十分か。
- ★ 郵便受けは、施錠できるタイプか。
- ★ オートロック式マンションでも安心はできません。親の目で、しっかりと確認してあげてください。

